



東京都立大学

学問の力で、
明日を創る。

経済経営学部

Faculty of Economics and Business Administration

人間の行動や社会・ビジネスの 発展の源泉を的確にとらえる力を 伸ばします。

教育方針

今日の経済活動は、さまざまな要因によりその姿を変えつつあります。社会が秩序を保ちながら進化・発展していくためには、二つの鍵となる調整メカニズムが重要な役割を果たします。一つは、個人の諸行動を価格の変動を通じて自動的に調整する「市場のメカニズム」、もう一つは、経営者が目標と計画に基づいて世の中の利害関係や行動を調整する「組織のメカニズム」です。前者を中心に社会を考察していくのが経済学であり、後者が経営学であるといえます。これらは、よりよい社会や組織を実現するための両輪であり、さまざまな問題を解決するための「政策科学」なのです。本学部では、経済学と経営学の体系的なカリキュラムを通して、教養教育と専門性の高い先進教育を展開します。そして、社会や組織のリーダーとして、社会全体を望ましい姿に導いていく政策立案能力と問題解決能力の涵養を目指します。

教育の特徴

POINT

1

2 年次進級時にコースを選択

1 年次に広く経済学と経営学の導入科目を学び、2 年次進級時に経済学コースか経営学コースを選択します。いずれのコースでも経済学と経営学をともに学ぶことができ、幅広い科目を自由に履修できます。

POINT

2

少人数教育により徹底した専門教育を実現

2 年次に「2 年次専門セミナー」を開講、3 年次からはほとんどの学生が演習（ゼミナール）に参加。1 学年平均 6 名程度の少人数で専任教員による親身の教育を施します。4 年次に卒業論文をまとめます。

POINT

3

第一線の研究者による高度な授業

専任教員はいずれも丸の内サテライトキャンパスの大学院において経営学・経済学・ファイナンスの分野で指導を担当している第一線の研究者であり、最新の研究を反映させた授業をしています。



履修モデルとカリキュラムの特色

1 年次には広く経済学と経営学の導入科目を学び、2 年次進級時にコース選択をして専門的に学びます。

経済学コース

卒業（学位の取得）に必要な単位総数は 124 単位です。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基礎科目群	基礎ゼミナール、言語科目、情報科目、理系共通基礎科目、保健体育科目、キャリア教育科目			必要単位 【二十六単位以上】
教養科目群	都市・社会・環境、文化・芸術・歴史、生命・人間・健康、科学・技術・産業		総合ゼミナール	
基盤科目群	入門ミクロ経済学、入門マクロ経済学、経済史・思想入門、統計学Ⅰ、統計学Ⅱ、経営学入門、会計学入門			
専門教育科目群	ミクロ経済学 1 マクロ経済学 1 金融論 1 基礎数学 1 基礎数学 2 データ解析 経済史概論 日本経済史概論 経済思想概論	ミクロ経済学 2 マクロ経済学 2 金融論 2 ゲーム理論 1 ゲーム理論 2 計量経済学 1 計量経済学 2 日本経済論 1 日本経済論 2 企業経済学 金融経済学 日本経済史 現代日本経済史 アジア経済史 ファイナンス 財務会計論 経営科学概論 2 年次専門セミナー	応用統計学 国際経済学 国際金融論 公共経済学 労働経済学 産業組織論 コーポレートファイナンス 財政学 西洋経済史 都市経済史 現代アジア経済史 金融工学 財務諸表論 経営科学 1 経営組織論 財務戦略論 経営戦略論 演習	経済学説史 競争戦略論 金融リスク論 財務諸表分析論 経営科学 2 経営行動論 意思決定論 経済経営特別講義 経済学コース特別講義 外国語講読 専門書講読 演習、卒業論文

①経済理論を体系的に学ぶ、②経済活動の発展を歴史的にとらえる、③現実のデータで理論を検証する、という 3 要素を備えたカリキュラムを編成しています。1・2 年次には、教養科目や専門教育科目の導入部である基盤科目を履修した上で、経済学や経済史を中心とした基礎的な専門教育を配置し、それぞれの問題意識や興味、目標に即して設定した研究テーマの専門性を高めていきます。具体的には、日本経済、国際経済、金融、企業行動、経済理論、経済データ分析、経済史、ファイナンス、数学・統計に関する講義を提供します。3・4 年次に参加できる演習（ゼミナール）では教員 1 人に対して学生は 1 学年平均 6 人程度という少人数制を徹底、専任教員のきめ細かい指導のもとで理解を深め、4 年次に卒業論文としてまとめあげます。

経営学コース

卒業（学位の取得）に必要な単位総数は 124 単位です。

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基礎科目群	基礎ゼミナール、言語科目、情報科目、理系共通基礎科目、保健体育科目、キャリア教育科目			必要単位 【二十六単位以上】
教養科目群	都市・社会・環境、文化・芸術・歴史、生命・人間・健康、科学・技術・産業		総合ゼミナール	
基盤科目群	経営学入門、会計学入門、入門ミクロ経済学、入門マクロ経済学、経済史・思想入門、統計学Ⅰ、統計学Ⅱ			
専門教育科目群	経営戦略論 経営組織論 財務会計論 原価計算論 経営科学概論 ファイナンス データ解析 基礎数学 1 基礎数学 2 ミクロ経済学 1	ヒューマン・リソース・マネジメント 組織行動 マーケティング・マネジメント マーケティング・コミュニケーション 管理会計論 経営科学 1 金融工学 コーポレートファイナンス 企業経済学 ミクロ経済学 2 マクロ経済学 1 金融論 1 ゲーム理論 1 ゲーム理論 2 財政学 2 年次専門セミナー	財務戦略論 競争戦略論 意思決定論 経営行動論 ビジネスイノベーション 財務諸表論 経営科学 2 マーケティング・サイエンス マーケティング・リサーチ 金融経済学 産業組織論 マクロ経済学 2 金融論 2 計量経済学 1 計量経済学 2 日本経済論 1 日本経済論 2 経済史概論 演習	テクノロジー・マネジメント 経営数理 経営史 財務情報分析論 会計制度論 金融リスク論 応用統計学 国際金融論 経済経営特別講義 経営学コース特別講義 外国語講読 専門書講読 演習、卒業論文

企業やビジネスについての理解を深める内容の講義を重視します。1・2 年次には、教養科目や専門教育科目の導入部である基盤科目を履修した上で、経営学、経済学、経営科学、会計学などの基礎的な専門教育を配置し、それぞれの問題意識や興味、目標に即して設定した研究テーマの専門性を高めていきます。具体的には、経営戦略、組織・管理、財務会計、管理会計、経営科学、ファイナンス、数学・統計に関する講義を提供します。3・4 年次に参加できる演習（ゼミナール）では教員 1 人に対して学生は 1 学年平均 6 人程度という少人数制を徹底、専任教員のきめ細かい指導のもとで理解を深め、4 年次に卒業論文としてまとめあげます。

経済学コース

Economics Program

経済現象の実態・法則の解明を通して
経営や行政に指針を与えます。



■ コンセプト

経済学コースでは、消費者と企業の行動を対象にした「ミクロ経済学」、国の経済の仕組みを学ぶ「マクロ経済学」、経済データを分析する「計量経済学」、さらに経済と経済学の歴史を学んだうえで、世界と日本の経済に関する幅広い知識とその仕組みについて、理論・データ・歴史の視点から理解する力を養います。社会・経済のさまざまな問題を解決するための能力を培うことで、将来のあるべき政策を立案し、国・自治体、民間企業に適切な指針を与えるリーダーとして、あるいは深く経済学を探究する研究者として活躍する人材を養成します。

■ 求める学生像

①経済学について体系的・理論的に学びたいと考えている人、②経済の原理を解き明かすための勉学に取り組みたい人、③大学で身につけた知識や知見を社会活動に活かし、社会に貢献したいという気持ちのある人、④ゼミナールや講義、その他大学における活動を通して、仲間と交流することにより、自己を研鑽しようという意欲にあふれる人、を歓迎します。

■ 分野紹介

理論経済学

Theoretical Economics

- ・ミクロ経済学 1・2
- ・マクロ経済学 1・2
- ・ゲーム理論 1・2 など

応用・計量経済学

Applied Economics and Econometrics

- ・日本経済論 1・2
- ・公共経済学
- ・企業経済学
- ・計量経済学 1・2 など

経済史・思想

Economic History

- ・経済史概論
- ・日本経済史
- ・西洋経済史
- ・アジア経済史 など

■ 授業紹介

ゲーム理論 1

渡辺 隆裕 教授

ゲーム理論は、企業の競争や国家の交渉など、2人以上の「プレイヤー」の競争や協力を「ゲーム」と考え、数学のモデルで分析する学問です。経済学や経営学のさまざまな分野で使われる基本の理論です。講義では、身近な出来事を題材にし、時にはそれを実験しながら、ゲーム理論の基礎を学んでいきます。



日本経済論 1

村田 啓子 教授

日本経済は少子高齢化、財政赤字、世界経済の変調など様々な課題に直面しています。経済学の考え方を踏まえ、最新の統計データを用いて日本経済について体系的に学びます。日本経済の現状と課題、そして先行きについて自ら考える力が身に付き、卒業後の将来においても役立ちます。



経済史概論

岩間 俊彦 教授

モノやサービスを作り、それらを分配しながら、私たちは豊かさを実現してきました。このような経済活動で最も重要なことは何ですか。情報技術の形成ですか、産業革命ですか、農業の誕生ですか。この授業では、当たり前と考えられている過去の経済社会の特徴を再考し、学生と教員の対話を交えながら学びます。



■ 在学生インタビュー

Q. 経済学コースを選択した理由は？

A. 社会現象の裏にある行動原理を数学やモデルによって明らかにすることに興味を持ったからです。身につけた経済理論と分析手法を用いて、社会のメカニズムを解明できるようになることを期待し、経済学コースを選択しました。

Q. 経済学コースの魅力は？

A. 自由な雰囲気勉強できることです。具体的には、履修に関する制限がほとんどなく、関心を持っている授業を自由に履修できる点です。さらに、相談事があれば親身になって対応してくださる先生方も魅力の一つだと思います。

Q. 受講して面白かった科目は？

A. ゲーム理論です。戦略的な思考とモデルを使って、人々の意思決定を分析することが非常に面白く感じました。さらに、日常でもよく使える理論なので、身近に起こる買い占めなどの社会現象を分析することもできます。そのため、経済学で物事を考える習慣づけに役に立っています。

Q. 成長を実感したことは？

A. ニュースや専門家の発言を鵜呑みにせず、主体的に考えるようになったことです。例えば、身の回りにある社会現象に対して、身につけた経済理論を用いて冷静に考えるようになりました。また、学習の習慣が身についたため、独自に計画を立てて勉強できるようになったと思います。

Q. 将来の夢は？

A. 大学院に進学してより一層専門的な知識を学び、将来は学者になりたいと考えています。今後も未知な発見を楽しみながら、社会問題と関わりのある実証分析を行うことにより、社会に貢献したいと志しています。

3年 経済学コース

賀 瑞 さん



2年次の時間割

		月	火	水	木	金
1	前期	実践英語	国際経済学	経済経営特別講義 (Financial Accounting in Japan)	日本経済史	統計学 1
	後期	実践英語	コーポレートファイナンス	国際金融論	現代日本経済史	
2	前期	計量経済学 1	ゲーム理論 1		日本経済論 1	
	後期		ゲーム理論 2			
3	前期	基礎数学 1			外国書講読	実践英語
	後期	経済学コース特別講義 (上級ミクロ経済学)	経営戦略論		日本経済論 2	実践英語
4	前期					
	後期	経済学コース特別講義 (メカニズムデザイン)		金融経済学		競争戦略論

■ 演習（ゼミナール）の主なテーマ

【理論経済学】

企業経済学とコーポレートファイナンス／メカニズムデザインとミクロ経済学／ゲーム理論とモデル分析 など

【応用・計量経済学】

日本経済の現状と課題／経済成長と金融論／統計理論とRによるデータ解析／数学・ファイナンスと金融証券市場 など

【経済史・思想】

グローバル化・都市・格差から見た世界経済の歴史／アジア経済の歴史と現在／経済学の古典から経済と社会を考える など

■ 演習（ゼミナール）紹介

ファイナンス

田中 敬一 ゼミナール



証券投資やデリバティブ取引の価格付けなどの理論を理解することと、仮想的な証券ポートフォリオのリターン・リスクの分析など、企業やデータの分析と実際の市場を知ることを目指しています。東京証券取引所等へ見学し、実際の証券売買や資金流通の仕組みに触れる機会も設けています。

Student Voice

4年 経済学コース
青木 健翔 さん

ゼミの魅力は、少人数であることを活かして、気になったこと、納得しきれないことを先生や仲間とことごと話し合えることです。その中で自分なりに、学問に対する真摯な姿勢について考えることができることも魅力の一つだと思います。



日本経済史

小林 延人 ゼミナール



近世後期から昭和初期（19世紀後半から20世紀半ば）ころまでの日本を対象として、財政・金融・商業・流通などさまざまなトピックを扱います。本学部にしては珍しく数式をあまり使わないゼミですが、その分論文講読と史料読解に深く取り組み、卒業論文執筆の準備を進めていきます。

Student Voice

4年 経済学コース
椿野 友崇 さん

ゼミの魅力は少人数のため、先生と学生の距離が近いことです。授業では明治期や大正期の史料を読む機会もあるため、日本史をより深く学ぶことが出来ます。また、自分の好きなテーマを設定して研究できるため、日本史が好きな人にはおすすめのゼミです。



経営学コース

Business Administration Program

企業をはじめとした組織の役割・戦略を科学的に研究・考察していきます。



■ コンセプト

経営学は、現代の産業社会の基礎的構成要素である企業を対象として、企業組織や産業社会の構造やその行動のメカニズムを明らかにする学問です。経営学コースでは、企業やビジネスがどのように成り立ち、いかにして行動するかを理解し、分析する能力を身に付けることを目標にしています。企業が社会の中で大きな役割を果たす現代社会において、皆さんが活躍するための必要不可欠な能力を磨くことになります。将来は企業を動かすリーダーとして、あるいは深く経営学を探究する研究者として活躍する人材を養成します。

■ 求める学生像

①企業や経営について体系的・理論的に学びたいと考えている人、②国際的な視点から企業経営を考えてみたい人、③新しい事業を起こしたいというベンチャー精神にあふれた人、④大学で身につけた知識や知見を社会活動に活かし、社会に貢献したいという気持ちのある人、⑤ゼミナールや講義、その他大学における活動を通して、仲間と交流することにより、自己を研鑽しようという意欲にあふれた人、を歓迎します。

■ 分野紹介

経営戦略

Corporate Strategy

- ・経営戦略論
- ・財務戦略論
- ・テクノロジーマネジメント など

経営組織

Management Organization

- ・経営行動論
- ・組織行動
- ・意思決定論 など

経営科学

Management Science

- ・経営科学概論
- ・経営科学 1・2
- ・経営数理 など

マーケティング

Marketing

- ・マーケティングマネジメント
- ・マーケティングサイエンス
- ・マーケティングリサーチ など

会計学

Accounting

- ・財務会計論
- ・管理会計論
- ・財務情報分析論 など

■ 授業紹介

経営戦略論

竹田 陽子 教授

この授業のねらいは、経営戦略論の諸概念を学問的な背景を含めて理解し、現実の経営現場で起る複雑な現象を適切に分析できるようになることです。知識を覚えるだけの学習ではなく、自分自身の問題意識を持ち、探求するスキルを身につけるために、受講生各自が授業で学んだ概念を使って調査、分析する課題に取り組みます。



組織行動

高尾 義明 教授

企業をはじめとした組織という器のなかで人がどのように行動するかを研究する組織行動論を学習することを通じて、よりよい組織づくりを考えます。モチベーション、リーダーシップ、グループ・ダイナミクスといったテーマを取り上げ、毎回グループディスカッションを交えた双方向的な授業を行っています。



経営科学概論

山下 英明 教授

経営科学概論では、経営科学の手法のうち、ある制約のもとで目的関数を最大または最小にする数理計画問題を中心に学習し、その解法について本質的に理解します。また、実際の問題を数理モデルにモデル化し、最適解を求めるグループ学習を通して、経営活動において生じる問題を科学的に意思決定する能力や論理的思考力を育成します。



■ 在学生インタビュー

Q. 経営学コースを選択した理由は？

A. 企業の経営戦略やマーケティングを分析することに興味をもったからです。また、数式や歴史を学ぶ経済学との違いとして、答えが一つとは限らず多様な考え方がある点も興味深いと思いました。

Q. 経営学コースの魅力は？

A. 企業の活動に直結していることだと思います。実際に企業が行った活動を例にあげてその活動についてグループディスカッションをする授業や、企業の方が特別講師としてきてくださる授業もあります。先生はとても豊富な知識があり、毎回の講義で吸収できることがたくさんあります。

Q. 受講して面白かった科目は？

A. 経営学コース特別講義のファッション産業の現在です。この講義では、毎回特別講師の方のお話をさくことができます。新聞社から大手通販サイト、人気アパレルブランドなど毎回様々な分野の方が来て下さるのでファッションという大きなテーマの中にたくさんの収穫があります。

Q. 成長を実感したことは？

A. 私は大学進学をきっかけに一人暮らしを始めたのですが、実家にいるときと比べて自発的に行動することが増えました。生活面だけでなく大学の授業やアルバイト、サークル活動などでも自ら進んで動くことや、自分の意見を言うことを心がけています。

Q. 将来の目標は？

A. 実はまだ将来の夢が定まっていらないのですが、経営戦略を分析したりマーケティング事例を調べたりすることに魅力を感じています。大学での学びを活かして、様々な視点そして広い視野で物事を考えるような人間になりたいです。残りの大学生活を通して自分の将来のビジョンをしっかり立てていきたいと思っています。

3年 経営学コース

関 早苗 さん

2年次の時間割

	月	火	水	木	金
1	前期	実践英語		ヒューマン・リソース・マネジメント	アジア経済史
	後期	実践英語	コーポレート・ファイナンス	経営組織論	
2	前期	計量経済学1	ゲーム理論1	マーケティング・マネジメント	原価計算論 考古学入門
	後期	計量経済学2	ゲーム理論2	2年次専門セミナー（経営学）	経営学コース特別講義（ファッション産業の現在）
3	前期	基礎数学Ⅰ	意思決定論	障害福祉論	実践英語
	後期	ビジネスイノベーション	マーケティング・コミュニケーション	日本の産業と企業	実践英語
4	前期	デザインと生活	管理会計論		
	後期				

■ 演習（ゼミナール）の主なテーマ

【経営戦略・マーケティング】

経営戦略、財務戦略、マーケティング、イノベーションの理論を実践に結びつける演習／ビジネスプランニング、アンケート調査、インタビュー、財務分析、テキストマイニングなどの研究方法 など

【経営組織・会計】

企業の戦略的成長とそれを実現する組織革新／人間の意思決定の特質／企業会計制度の構造とメカニズム／管理会計と企業のパフォーマンス など

【経営科学】

数理モデル・最適化理論などの経営科学の手法を用いた科学的な問題解決・業務改善・意思決定／ファイナンス理論による金融市場や投資・財務活動の分析 など

■ 演習（ゼミナール）紹介

途上国におけるイノベーション

松尾 隆 ゼミナール



日本企業が発展途上国において、どのようなマネジメントを行っているのかを理解することを目指します。日本や他の先進・中進国でのマネジメントとの違いや多様性、そこで生み出されるイノベーション（革新）を、実際に現地で調査して明らかにします。

Student Voice

4年 経営学コース
八代 真弥 さん

座学だけでなくフィールドワークも行うので、普段の講義では得られない経験が出来る点が魅力です。夏休みには実際に途上国に赴き現地の日系企業の方々にインタビューをし、結果をもとに論文を作成します。



オペレーションズ・リサーチによる問題解決

森口 聡子 ゼミナール



現実世界の諸問題に対して、数学的手法やコンピューターを用いた科学的・合理的な意思決定を扱う「オペレーションズ・リサーチ」を学びます。適用先は色々。学生自身の日々の生活やバイトの中での課題解決をテーマにすることも。学びでもゼミ運営でも学生の主体性を大切にしています。

Student Voice

4年 経営学コース
阿見 桃花 さん

文系でもコンピューターやプログラミング言語にたくさん触れることができます。また、少人数制で先生がより親身になって相談に乗ってくださるので、難しいことにも挑戦しやすいと思います。



国際交流・留学プログラム

本学は、協定校への留学、海外短期研修、海外インターンシップ、留学英語講座、グローバルな視点を養う講演会等、留学や国際理解に関するさまざまなプログラムを用意しています。協定校への留学は、本学と学生交換協定を結んでいる海外の大学に1年以内で留学できる制度で、交換留学と派遣留学があります。交換留学は本学に授業料を支払うことで留学先の授業料が免除されますが、派遣留学は留学先の授業料を負担する必要があります。ただ、いずれも休学せずに留学できますし、宿舍の斡旋や留学中のサポートが受けられます。海外短期研修は、夏季休暇や春季休暇を利用し、海外の研修先で語学研修を受ける制度です。外国語による実践的なコミュニケーション能力を磨き、グローバル社会への適用力を養うことを目的とします。海外インターンシップは、夏季休暇や春季休暇を利用し、海外における体験型インターンシップを実施する制度です。海外での就労体験を通して、外国語によるコミュニケーションを磨くとともに、その国の文化、社会、経済の理解を深め、国際的視野を広げることを目指します。派遣期間は2～3週間を予定しています。

協定校一覧（一部）

レスター大学、キール大学、ノーザンブリア大学、ローマ大学トルヴェルガータ大学、ウィーン大学、ロッテルダム専門大学、リール大学、レンヌ第2大学、カイザースラウテルン専門大学、ウメオ大学、ヴロツワフ大学、シャウレイ大学、トムスク国立大学（以上、欧州）、エディス・コワン大学、マッコーリー大学、ニューカッスル大学（以上、オセアニア）、ウィスコンシン大学グリーンバイ校、ニューヨーク州立大学オニオンタ校、マーレイ州立大学、セント・メアリーズ大学、レジャイナ大学（以上、北米）、ソウル市立大学校、仁川大学校、チュラロンコン大学、タマサート大学、国立台湾師範大学、国立東華大学、国立清華大学、首都師範大学、華南理工大學、マラヤ大学、マレーシア国民大学（以上、アジア）

本学からの留学生

留学をしたら？

4年 経営学コース 小湊 洸之 さん

留学先：マッコーリー大学
（オーストラリア）



「学生時代何に取り組めばいいですか？」と、後輩に尋ねられたら、私はこう答えます。特にこの2つの人にお勧めしたいと思います。

①将来やることが見つからない人

留学というのはあなたの価値観形成に大きな影響を与えたいと思います。色々な刺激を受け、これまで持っていた固定概念が崩れ、あなたの視野が広がるはずです。必ずしも、将来やりたいことが見つかるとは言えませんが、少なくとも私は、自分の将来の夢を形成する大きな要因になりました。

②英語を使いたい人

私が留学したオーストラリアの「マッコーリー大学」では1/3が留学生というとても国際的な環境でした。他の国から来た留学生は、みな英語を流暢にしゃべっていて、「英語を使って」勉強をしています。大学の交換留学というのは、英語を使えるものにする良い機会です。経営学を目指されるあなたも、英語は話せて当たり前にし、その上でビジネスに関する専門知識を学んでみたいと思いませんか？

本学への留学生

将来は世界との架け橋に！

4年 経営学コース オウブン さん

出身国：中国



私費外国人留学生として東京都立大学に入学しました。私は中国で住んでいた町では日系企業が多くあり、普段の生活で日本文化に触れ合う機会が多かったです。それで日本文化の魅力を感じ、日本で留学することを決意しました。高校卒業後に来日し、日本語学校を通いながら大学入試の勉強をしていました。東京都立大学に決めたのは、オープンキャンパスで感じた雰囲気やチューター制度、日本語アカデミックライティングなど留学生に対するあらゆるサポート制度が充実しているからです。将来起業しようという思いを抱え、経営に関する知識を身に付けたく、経営学部（現経済経営学部）を選びました。現在では経営学コースに所属しており、社会経済、企業、ビジネスについて幅広い知識を学んでいます。学業以外は国際交流サークルHANDsや中国人留学生学生会の幹部を務めました。そこで様々なバックグラウンドを持つ方々と出会い、交流した経験を活用して、将来は日本と中国に限らず、日本と世界を繋ぐ架け橋になりたいと考えています。大学卒業後は日本で暮らし続けたいと考え、現在はコンサルティングファームを中心に就活活動をしています。実際の企業をクライアントとし、大学で学んだ知識を活かし、経営管理やビジネスで企業が抱えている諸問題を解決することで、広い視野と洞察力、多角的な視点を身につけ、将来ビジネスの世界で活躍していきたいと考えています。

国際副専攻

本学では、2015年度入試から、国際社会で活躍する意欲あるものを募集する「グローバル人材育成入試(AO入試)」を実施。国際社会の第一線でリーダーシップを発揮して活躍できるグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。グローバル人材育成入試で入学する学生は、主専攻の科目と並行して、海外留学が必修の新カリキュラム「国際副専攻」の科目を履修します。主専攻の専門知識やスキルを身につけるとともに、確かな語学力やコミュニケーション力を養い、多様な文化に適用可能な実行力を身につけます。さらに、必修である海外留学を通して、多様な文化や価値観に触れ、より広くグローバルな視野を獲得します。

国際副専攻の標準的な履修モデル

(2年次後期～3年次前期に留学する場合)

		大学院 へ進学	グローバル 社会で活躍	
		本学学士課程 (主専攻)	国際副専攻	
4年次	後期	専門教育科目群 (海外取得単位の 認定もあり)	Advanced Seminar Special Discussion Seminar Advanced Academic Writing Internship	
	前期			
3年次	後期	1年間の留学 海外大学での科目等を履修・単位取得		
	前期			
2年次	後期	専門教育科目群 基礎科目群 教養科目群 基礎科目群	Foundation Seminar Academic English Academic Writing Globalization and Japan	
	前期			
1年次	後期			
	前期			

アカミミック・アドバンスにより、サポーター体制

アカデミック・アドバイザーによるサポート体制

Student Interview

4年 経営学コース 宮田 海斗 さん



「英語は苦手、でも留学したい」「今までにない出会いと刺激がほしい」そんな方にこそグローバル人材育成入試(国際副専攻)は非常におすすめです。そして、これは私の入学当初の思いでした。事実、英語能力が壊滅的な私とは対照的に、英語を武器に様々な経験を持つ生徒がこの国際副専攻に所属しています。所属生徒は少数にも関わらず、育った国や価値観が一人一人異なるため、毎日必ず新しい発見や知識を吸収することができます。英語が苦手な私も、周りの生徒からたくさん刺激を受け成長した結果、第一希望のボストン大学(アメリカ)への留学を果たすことができました。もちろん、一般受験で都立大に入学した後、留学を目指すことは可能です。しかし、大きく異なる点は国際副専攻を通じて英語による専門知識の学習や、留学準備を着実に進めることができることです。留学前後で広める見聞と豊富な経験により、留学期間中の学習や日常生活をより濃密にすることができるようプログラムです。留学を目標に頑張っている皆さん、「目標」ではなく「通過点」として有意義に過ごすために、このコースをぜひ活用してください。

インターンシップ

本学では、キャリア教育の体験型科目として、大学生活の早い時期に履修できる現場体験型インターンシップを実施しています。前期授業期間に事前学習(全3回)を行い、実習先の事前調査やグループワークに取り組んだうえで、夏季休業期間に5～10日間の現場実習を行います。学生がインターンシップに参加することで、大都市の抱えるさまざまな課題や自分自身の課題について認識を深め、これらの課題に主体的に取り組む能力や社会人として必要な基礎的コミュニケーション能力などを自ら要請することを目指します。東京都庁やその関係団体、都内の区や市、企業などバラエティに富んだ実習先の充実度は本学ならではのものです。

事前学習

4月(第1回) 6月(第2・3回)

- 【第1回】プログラムの目的、事前調査方法
- 【第2回】事前調査結果のグループワーク
- 【第3回】社会人マナー、成果報告書の執筆方法

現場実習

8～9月

大都市東京での現場実習
(東京都、東京都の関係団体、特別区、市、企業・その他法人)

成果報告書の執筆

8～9月

成果報告書の執筆・提出
実習先での体験を振り返ることで、「大学生活の充実とキャリア形成」に繋がります。

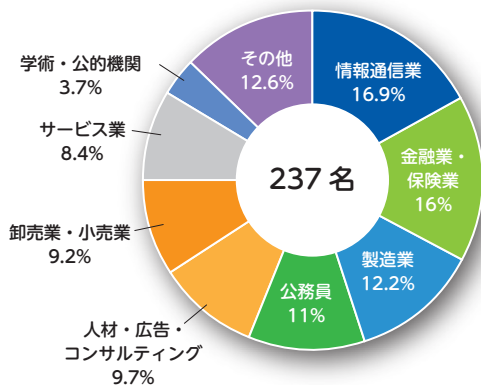
Student Interview

3年 経営学コース 石橋 若菜 さん

自分がどんな職業に向いているのか知りたくて1年次に現場体験型インターンシップに参加しました。実習先は税理士事務所でした。税理士事務所という静かで重苦しい雰囲気は想像していましたが、私の実習先は毎朝朝礼で少数のグループを作り1日の目標を発表したり、職場内の方の良いところを発表するなど、とても明るいところでした。実習期間中は記帳代行の体験をしました。学生2、3人に職員の方が1人ついてアドバイスをくださり、記帳代行の大変さとやりがいを感じることができました。このような体験が1年生のうちにできたことで、自分の将来について考える手がかりが少し掴めたように思います。このインターンシップは他大学の方と一緒にいることもあるので、情報を交換したり、会話の中で刺激をもらったりすることもありました。とてもいい経験ができたと思っています。



卒業後の進路



主な就職・進学状況

(2020年3月卒業生実績) *法人格省略

トヨタ自動車/日産自動車/アシックス/ソニー/日立製作所/富士電機/日本電気/アシックス/楽天/ソフトバンク/日本ユニシス/UUUM/デロイトトーマツ/三井住友銀行/みずほ銀行/セブン銀行/第一生命/ゆうちょ銀行/東京都庁/国税庁/人事院/防衛省/神奈川県庁/京都市役所 など

進学先: 東京都立大学大学院/東京工業大学大学院

卒業生からのメッセージ

島村 勇輝 さん (2019年3月卒業)

勤務先 日産自動車株式会社

グローバル購買部門でバイヤーとして世界中から自動車部品の調達をしています。日本だけでなく他拠点の設計・開発、経理や原価部門等の様々な部署間とサプライヤーの調整役を担い、世界中の新車ソーシング活動に寄与できることがやりがいです。

在学時は主に組織や経営戦略に興味を持ち体系的な理論や考え方を学びました。その中で経営学は「企業活動の現場で理論が実践できるのか」が重要であることに気づき、演習では海外でのフィールドワークを通して最前線の企業マネジメントを体感しました。また経営学で学んだことは学内外での様々な活動でも大いに役立ち、双方から会得したリーダーシップ論やマネジメント論は現在の仕事を選択した大きな要因になりました。

経済経営学部では講義・演習やインターンシップ等のプログラムでこうした「生きた経営学」に触れる機会が多く用意されており、在学中・卒業後問わず必ず役立つ学問を学べる学部だと思っています。



中島 夏耶 さん (2014年3月卒業)

勤務先 株式会社パーソル総合研究所

組織・人事を専門に扱うコンサルティング会社に勤めながら、首都大学東京の夜間ビジネススクールに通っています。首都大学東京は、少人数制で教員から丁寧な指導を受けられることが良さであると思っています。卒業してからも尚、「また首都大に戻って勉強したい」と思えたのは、学部時代に熱心に指導をいただいた教員の方々と、それを可能にする大学の環境があったからだと思います。大学院に入学してからは、教員の方々のみならず、在学生や修了生との交流や研鑽の積み重ねで、知的好奇心を刺激される毎日です。大学院を修了してMBAを取得することがゴールではないと考えています。私が目指すのは、大学で学んだ理論を、実務に結び付けて実行ができる一段階上位のコンサルタントとなることです。当大学、大学院で学べることは、実践的で仕事に結びつきやすく、現在の仕事に大変役立っています。



大学院 経営学研究科 Graduate School of Management

【修士課程】 入学定員: 50名
学位: 経済学、経営学
ファイナンス

【博士後期課程】 入学定員: 5名
学位: 修士課程と同じ

首都東京には、我が国を支える主要な大小の企業が集積し、新しい企業を創業していく潜在力があります。それを現実の活力に転換するためには、組織を動かす高度な能力を有する経営管理者・起業家の養成が欠かせません。また、経済活動の仕組みも日々変化する中で、ビッグデータの蓄積とともに高度な経済学やファイナンスの専門的知識を用いた経済分析や金融リスク管理などが求められています。経営学研究科では、これらの社会的要請に応えるために高度な研究水準を維持し、その成果を博士前期課程および博士後期課程において学術的もしくは実践的な教育に反映させていきます。特に、博士前期課程では経営学・経済学・ファイナンスの各分野に教育プログラムを設置しています。

経済学と経営学の複眼思考で地球社会のメカニズムを探求する

本学部は国公立大学としては唯一の「経済経営学部」という名称を冠しています。そのねらいは学生に経済学と経営学を学んで複眼思考を身につけてもらうことにあります。過去数千年の間に人間の文明は飛躍的な発展を遂げました。その要因はいくつもありますが、社会科学的見地からは「市場」と「組織」を発明し発達させたことがその鍵であると言えるでしょう。ロビンソン・クルーソーのように独りぼっちで暮らしていたなら、食べるだけで精一杯で文明的な生活は望めません。自動車工場が毎日数多くの自動車を生産できるのは人間が企業などの組織を構築して分業と協業を進めているからです。コンビニの棚に商品がひしめきインターネット通販で世界中から買物ができるのは市場が整備されて地球規模で自由な取引が可能になっているからです。経済学は市場を、経営学は組織を主たる研究対象としています。両方を学ぶ必要があるのはそのためです。ただし学びとは単なる知識の取得ではありません。経済学と経営学は研究手法においてもそれぞれのアプローチがあります（もちろん共通点もあります）。本学部の学生には経済学的なアプローチと経営学的なアプローチによる複眼思考を身につけてもらいます。人間関係の基本的な枠組みである協力と競争のメカニズムや現代の地球社会の複雑なメカニズムを探求するにあたっては複眼思考が大いに効果を発揮します。

本学部は経済学と経営学の専門科目を幅広く揃えており、履修モデルも提供していますので、学生は自分の興味に従ってバランスよく効率的に学ぶことができます。経済学コースと経営学コースのいずれかを選択するのは2年次への進学時です。2年次の後期には2年次専門セミナーが配置されていて、専門分野の基礎力を養成します。3年次にはいよいよ演習（ゼミ）が始まります。ゼミは本学部の教育の核とも言えるもので、少人数制で担当専任教員の親身の指導により専門的な研究に深く分け入ります。研究には手抜きやごまかしは通じません。真理への道は苦勞の道でもあります。それ以上に充実感と喜びをもたらしてくれます。またゼミでは単なる研究の場を超えて教員や他の学生との豊かな交流があり、そこから人生の糧を得ることができます。日本の大学では社会科学系の学部はあまり勉強がきつくないと思われがちですが、本学部はGPA（成績評価点平均）による年次修了判定制度を採用しており、専門科目のGPAが基準値に満たないと進級できません。4年間たゆまずに勉学に励んでもらいます。そして4年次には多くの学生がゼミでの研究成果をとりまとめた卒業論文を執筆します。

世界最古の大学のひとつであるイタリアのボローニャ大学は、ヨーロッパ各地から集まった学生が権力の介入を防ぐなどの目的でつくった団体（ギルド）が始まりでした。大学は本質的に学問の自由を求める国際的な存在です。本学は海外の提携大学等への留学制度が整備されており、一部に英語による専門科目の授業も導入しています。学生の皆さんにはぜひ国際的な視野を培っていただきたいと思います。

イギリスの桂冠詩人のジョン・メイスフィールドは「この世で大学ほど美しいものはめったにない。大学は無知を嫌う者が知識を得ようと努力し、真理に到達した者が他者に理解させようと努力する場所なのだ」と述べています。本学部も美しい場所でありたいと願っていますし、そのために改善を重ねていきます。

近年の日本経済や日本企業の経営は必ずしも順調ではありません。地球社会も環境問題や紛争など多くの問題を抱えています。本学部の卒業生が様々な分野に進んで問題発見と問題解決に取り組み、平和で豊かで持続可能な世界の構築のために大いに活躍することを期待しています。



経済経営学部長

長瀬 勝彦

A handwritten signature in black ink, reading '長瀬 勝彦' (Nishino Katsuhiko).

入試

経済経営学部では、一般選抜（前期日程一般区分、前期日程数理区分、後期日程）のほか、指定校推薦入試、高校特定型特別推薦入試、グローバル人材育成入試などの入学者選抜方式によって、才能ある多様な人を受け入れます。詳しくは、それぞれの募集要項で確認してください。

【一般選抜】

大学入学共通テストのほか、個別学力試験では調査書および下記の試験を課すことにより選抜します。

- ・前期日程一般区分（定員 100 名）・・・2教科2科目（国語、地歴および数学から1科目を選択）
- ・前期日程数理区分（定員 20 名）・・・数学
- ・後期日程（定員 20 名）・・・・・・小論文

学費（予定額）

2021 年度の学費は以下の通りです。なお在学中に授業料が改定された場合、改定後の金額が適用されます。

入学料：都民 141,000 円、都民外 282,000 円

授業料（二期に分納）：年額 520,800 円

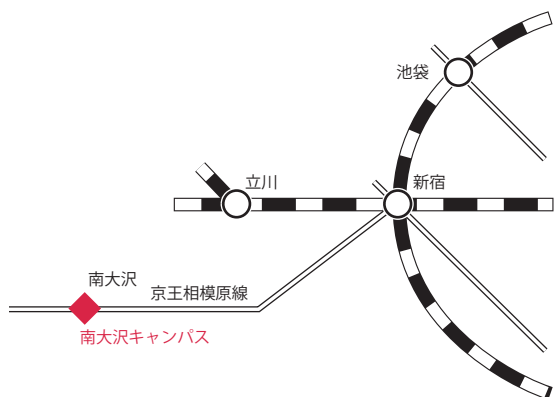
オープンキャンパス

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の南大沢キャンパスでのオープンキャンパスは中止いたします。
カリキュラムの説明など経済経営学部の紹介を行う特設 web サイトを開設いたしますので、下記 URL を御覧ください。

Web オープンキャンパス（7 月中旬～8 月末頃まで開設予定）

https://www.tmu.ac.jp/entrance/faculty/open_campus/weboc.html

アクセス



最寄り駅から約 5 分

京王線相模原線「南大沢」駅改札口から徒歩約 5 分
* 改札口を出て右手に緑に囲まれたキャンパスが見えます。

お問い合わせ窓口

東京都立大学管理部 経済経営学部教務係

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

Email: biz@jmj.tmu.ac.jp

TEL: 042-677-2303

(平日 9:00～17:00。土・日・祝日は休み)

学部関連等の情報は、ホームページにて随時更新してまいります。

<https://www.biz.tmu.ac.jp>



東京都立大学